

議席 1 番，山田正樹君。

〔1 番 山田正樹君登壇〕

○1 番（山田正樹君） 皆様，改めまして，おはようございます。傍聴者の皆様におかれましては，何かとお忙しいところ，議会にお越しいただきましてありがとうございます。議席 1 番の山田正樹でございます。議長よりお許しをいただきましたので，通告に従いまして，3 項目，3 点についての一般質問をさせていただきます。

初めに，本題に入る前に，3 月に入りまして，3 月 11 日の東日本大震災から間もなく 6 年がたち，また当町でも甚大な被害を受けた 9 月 9 日の関東・東北豪雨から 1 年半，さらに昨年 4 月 14 日に発生いたしました熊本地震から間もなく 1 年がたとうとしております。改めて，ここにお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに，被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

それでは，1 項目めのシティープロモーション事業についての 1 点目，境町フィルムコミッションについて，現在町で推進しているが，どのような効果があったか，また他の市町村と比較して当町ではどれくらいの予算をかけているのかをお伺いいたします。

記憶に新しいところで，田辺誠一さん主演のドラマ「とげ」の撮影が当境町役場で行われ，連日ロケハンの方々やエキストラの方々等，役場のほうでもにぎわい，話題になっておりました。長期間の撮影の中では，境町で買い物をする方や境町を知っていただくよい機会になったのではないかと考えられます。また，ロケーションの誘致にはいろいろと経費や苦労があるのではないかと考えられ，その辺をお伺いいたしたく，1 項目めの質問をいたします。

次に，2 項目めの健康推進事業についてのインフルエンザ予防接種については，近隣市町村と比べ，小児関係の補助制度がないと思うが，拡充の予定はについてお伺いいたします。現在境町では 65 歳以上の方を対象に，年度内 1 回当たり 2,000 円の公費負担をしているのは承知しておりますが，県内 44 市町村の中でも多くの市町村で小児インフルエンザ予防接種の助成を実施しているところがあり，ぜひ当町でも検討していただきたく，2 項目めの質問といたします。

次に，3 項目め，消防団についての 1 点目，消防団の家族功労報償金が当初予算にはないが，復活の可能性はについてお伺いいたします。昨年 9 月の補正予算で，12 月 13 日に一家族 3 万円で 169 名を対象に，いわゆる家族手当というものが支給されましたが，今回の予算には計上されていないので，復活の可能性があるかについて質問いたします。

以上，3 項目，3 点について，1 回目の質問を終わります。

○議長（倉持 功君） ここで，答弁の前に資料の配付をしたいということでありますので，許します。

〔資料配付〕

○議長（倉持 功君） 最初に，シティープロモーション事業についての質問に対する答弁を求めます。

秘書公室長。

〔秘書公室長 忍田 博君登壇〕

○秘書公室長（忍田 博君） 皆さん、改めまして、おはようございます。

私のほうから、山田議員の1項目め、シティープロモーション事業についての1点目、境町フィルムコミッションについて、現在町で推進しているが、どのような効果があったか、また他の市町村と比較してどれくらいの予算をかけているのかとのご質問にお答えをいたします。

町ではロケーション誘致による観光振興と地域の活性化を図ることを目的に、専属のフィルムコミッション担当を1名配置し、推進しておるところでございます。先ほど議長にお許しをいただき配付をさせていただきました平成25年8月から現在までのフィルムコミッションの事業実績は、35件のロケ撮影が当町で行われてきております。主なものを申し上げますと、平成27年7月19日、TBSで放送されました「ナポレオンの村」、ロケ地は役場庁舎、同年11月6日、テレビ朝日で放送されました「仮面ライダードライブ」及び昨年1月30日、日本テレビで放送されました「怪盗山猫」については、ロケ地はともに猿島環境センターごみ処理場跡地、5月28日には日本テレビで放送されました「お迎えデス。」のロケ地は、猿島環境センター球場と旭化成グラウンド、さらに9月6日から10月30日までの2カ月間近く「とげ小市民倉永晴之の逆襲」が、境町役場庁舎でロケ撮影が行われました。

なお、成果につきましては、ロケハンが弁当などをとったりしておりますので、ロケ関連経費が境町で使われております。特に長期間ロケ撮影が行われました「とげ」では、100万円近い経費が使われておりますので、直接的な経済効果があったものと判断しておるところでございます。

また、他の市町村と比較してどれくらいの予算をかけているのかとのことでございますが、古河市では、フィルムコミッションを含めたシティープロモーション事業に4,000万円の予算をかけておりますが、当町では新年度予算にシティープロモーション自治体協議会負担金と新たに高速バスラッピング広告業務委託料で255万円を計上させていただいております。今後もロケーション誘致を推進し、町のPRや観光誘客、地域活性化につなげていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

山田正樹君。

○1番（山田正樹君） ご答弁ありがとうございます。先ほどお配りいただいた資料を見させていただき、専属のフィルムコミッション担当は1名配置ということで、これだけの実績と、またそのときに使っていたいただいた弁当など100万円近い経費が使われて、それらにおいて地域振興などにもなりますし、正直今答弁にもあったように、4,000万円近くかけている自治体もあるくらい、もっと経費などかかると感じておりました。逆にこのような少ない予算で町のPRや観光誘致、地域活性化にもつながる事業として素晴らしいと思いますし、今後も継続していただければと思います。

あと、先ほどの答弁の中にありました高速バスのラッピング広告について、これについてどのよう

なPR効果等あるのか、お聞かせいただければと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは，ご質問にお答えをさせていただきます。

端的に言う、やはり町のPRということもありますが、今回は関東自動車さんのバスをラッピングするというので、例の皆様方とともに今推進をしている高速バスの誘致事業というのがございます。実際に大田、宇都宮、それからもう一カ所、どこでしたっけ、3カ所になったのですよね。高崎か、何か3カ所から今、宇都宮がちょっとふえたのです。1日12往復の成田へ行く便、これを4月半ばに圏央道のルートに変わるそうです。5月ごろにどこにとめるかを検討するそうです。境になれば片道3,000円弱で成田へ行けるというような、今打ち合わせをしているのですが、やはり関東自動車さんの誘致をするためにも、そういう投資をしなければならないということと、やはりそれだけ乗降客がおりますので、そういった方々へ、例えば境の花火大会のラッピングだったりとか、それからふるさと納税のラッピングだったり、そしてバスの中に移住定住ガイドを置いてもらったり、そういったことを、この間の新聞で水戸の納豆のバスが出ていました。ちょうどスカイマークと組んで、茨城空港から東京へ行くやつ、あれのバスをラッピングして、納豆のラッピングをして、中に茨城県の納豆のグッズを入れているというのがありました。あれと同じような感覚です。

ですので、町の移住定住対策、それからふるさと納税のPR、そして先ほどの、最終的な大目的には高速バスの誘致というものがありますので、そういったもののために240万円の投資ということでありますので、ぜひ皆様方にもご理解をいただいて、一緒に推進をしていただけると助かるなという事業になりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

山田正樹君。

○1番（山田正樹君） ご答弁ありがとうございました。本当に今言ったように、そういったPR活動をどんどんしていき、移住定住対策に町長初め町執行部側でも鋭意努力に取り組んでいただけること、本当に感謝いたしますし、これからも続けてよろしくお願ひして、こちらは終わりとしたいと思います。

○議長（倉持 功君） これで、シティープロモーション事業についての質問を終わります。

次に、健康推進事業についての質問に対する答弁を求めます。

福祉部長。

〔福祉部長 台 章君登壇〕

○福祉部長（台 章君） それでは、山田議員の2項目め、健康推進事業についてのインフルエンザ予防接種については、近隣市町村と比べ、小児関係の補助制度がないと思うが、拡充の予定はとのご質問にお答えいたします。現在インフルエンザの予防接種につきましては、予防接種法に基づく定

期接種といたしまして、65歳以上及び60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器、免疫等の機能に障害者1級相当の障害のある方を対象に、2,000円の助成を行っているところでございます。

小児インフルエンザの予防接種の助成につきましては、議員ご承知のとおり、県内におきましても任意接種として38市町村で接種費用の助成を実施しております。対象年齢におきましては、それぞれ市町村によって違いがございまして、対象別としては、12歳までが4カ所、15歳までが28カ所、18歳までが6カ所となっております。また、助成額につきましても、費用の一部や全額とするところ、上限額を定めるところなど、各市町村によって違いがあり、近隣では古河市が18歳までを対象に一部助成を実施しております。

境町におきましても、保護者の負担軽減を図り、小児の感染及び重症化を予防するとともに、学校などの集団による蔓延を防止することを目的に、平成29年度には子育て応援予防接種拡充事業として、18歳までを対象に1回の接種で1,000円の一部助成を実施する内容で、平成29年度予算に計上させていただきましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

山田正樹君。

○1番（山田正樹君） ご答弁ありがとうございました。こちらについては町長の施政方針にもありましたが、今回の新規事業として予算計上していただきまして、ありがとうございました。実際我が家でも昨年末に子供3人と大人1人でインフルエンザ予防接種を受けにいきました。ただ、そのときやはり1人当たり二、三千円とかかってしまい、家計を圧迫するだけではなく、また学校などで学級閉鎖になってしまうと、学校に行きたい子供たちも自宅待機ということで学校にも行けなくなったり、また学校に行けなくなると、共働きの親なんかは仕事を休んで家庭で面倒を見なければいけないなど、いろいろな懸念がありますが、こういったことで予防が早目にできれば、そういう懸念も少なくともはないと思いますので、今回の予算が通り、助成の実施ができれば、ぜひこのようなことも継続してやっていただきたいと思い、これはこれで終わりにしたいと思っています。

○議長（倉持 功君） これで健康推進事業についての質問を終わります。

次に、消防団についての質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長 佐藤友久君登壇〕

○総務部長（佐藤友久君） それでは、山田議員の3項目め、消防団についての1点目、消防団の家族功労報奨金が当初予算にはないが、復活の可能性はとのご質問にお答えいたします。

消防団の皆様には、関東・東北豪雨災害時にも地域防災のかなめとして、昼夜を問わずご活躍をいただくなど、地域の安心安全に貢献していただいております。そうした活動を支える家族の方々のご苦勞に対し、消防団員の家族功労報奨金を支給したところでございます。議員ご質問の、当初予算にはないが、復活の可能性はとのことですが、新年度におきましては、団員や家族の方々にアンケ

ート調査などを行い、今後検討していきたいと考えおりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

山田正樹君。

○1番（山田正樹君） ご答弁ありがとうございます。実際私の身近にいる知り合いの消防団の方たちからもいろいろお話を聞きましたが、大変よい評価を受けておりますし、実際私も消防団経験者として思いますが、昼夜を問わず、いつ起こるかわからない火災や災害に出動したり、日ごろから備えに訓練したりと、日々仕事をしながら大変な活動をされていると思います。また、それに対しても家族の理解や協力がなくてはできないものだと思っておりますので、もちろんアンケート調査などを行っているいろいろ検討していただき、必要であればぜひ今後もやっていただけるよう検討していただけるようお願い申し上げます、一般質問を終わりたいと思います。

○議長（倉持 功君） これで山田正樹君の一般質問を終わります。